

2024年度

スタートアップ教育支援プログラム

「地動計画」第2期

参加者説明会

高専品川キャンパス 2024年4月24日(水)

高専荒川キャンパス 2024年4月25日(木)

2023年度から、産技高専では
スタートアップ教育支援プログラムを
開始しました。今年第2期です。

自らのアイデアや専門性で、社会課題の解決に
チャレンジするエンジニアとなるための第一歩として、
新たな価値を生み出すスタートアップへの関心を高め、
起業について学生目線で学び、考えさせるため

地動計画
Discovery Create Proof



地動計画 第2期 「スターティングコース」説明会

2024年4月24日(水)

地動計画
Discovery Create Proof

日常の中のあたりまえを疑うことで見えてくる自らの着眼点や
普段学んでいる技術・知識を活かしながら、
まだ誰も体験したことのないモノゴトをクリエイティブにカタチにし、
世の中に発信できるエンジニアとなる第一歩、及び、
スタートアップについて理解を深める機会としての実践型プログラム。

スタートアップの印象・意味・イメージは？

地動計画的に言うと、

- 旧態依然としたあたりまえを、
より良いあたりまえに変えていく存在
- 身近なところから社会全体を
動かしていく可能性をひめた存在

仕事に就くことだけが人生の選択肢ではないこと。

(好きなモノを作り続けるための環境は自分でもつくれる)

他人のものさしではなく、自分のものさしで挑戦できる。

(そして、それは誰にでもチャンスがあり、特別な人だけの手札ではない)

**普段、学んでいる技術や知識について、
社会や未来におけるポテンシャルを探求していくこと。**

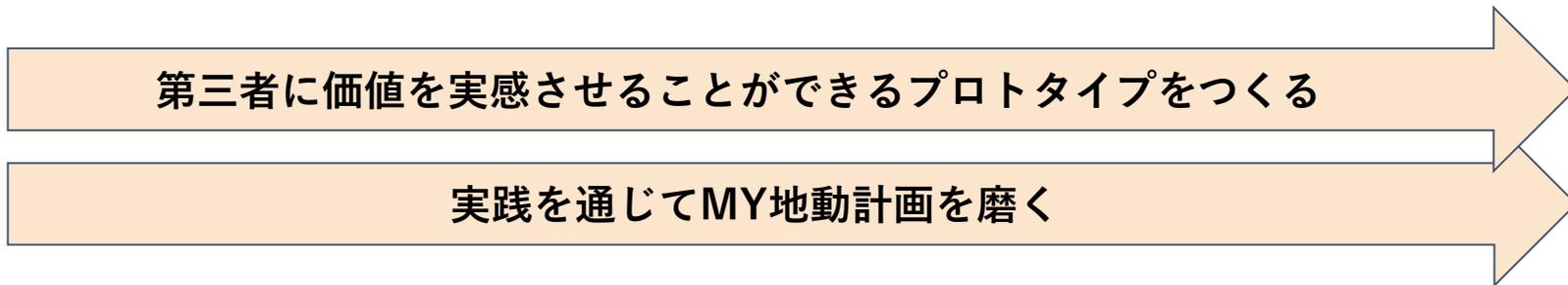
(皆さんが持つ、まだ見ぬ可能性や選択肢への気づき)

自分たちの身近にあるあたりまえを、
自分ならではの「着眼点」や「ものの見方」をもとに、
「より良いあたりまえ」へと**つくりはじめる機会**。

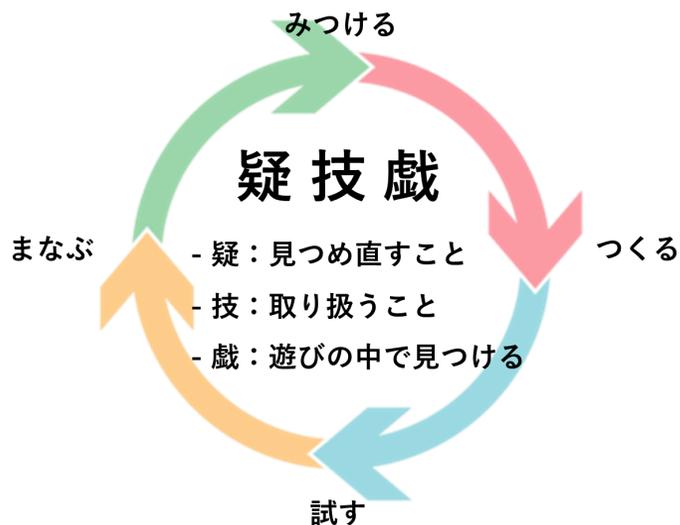
自分以外の**第三者にもその価値を実感・体験させられる
プロトタイプ**をつくり、何度も試行錯誤を重ねながら、
MY地動計画(※)を磨いていく。

※「身近にあるあたりまえ、旧態依然としたあたりまえを、自らの着眼点をもとにより良いあたりまえへ変える」ための個々の計画、活動のことを指します。





【ベースとなる思考フレーム】



【実践と学びを後押しするメニュー】

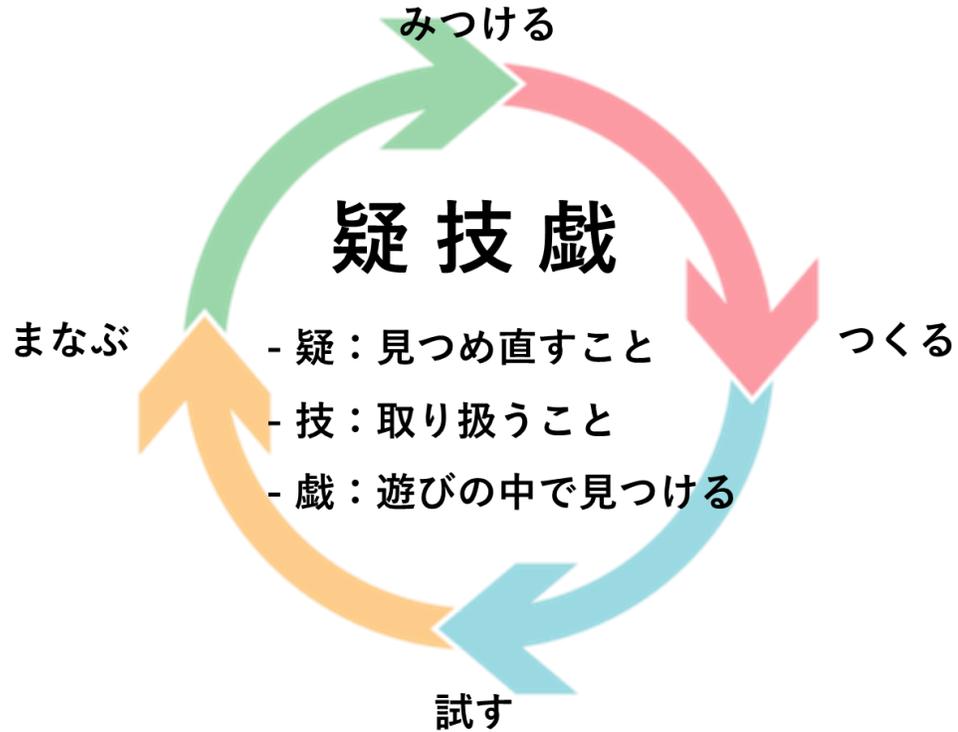
- 起業家・クリエイターからの助言
- コーディネーターによるフォロー
- プロトタイプ制作費補助 (ひとり10万円)
- 同期メンバーとの相互支援
- 各種ツール・アイテム

文化祭・成果報告会

2024
10.26-27



- 研究を続ける
- 社会実装してみる
- スタートアップを立ち上げる
- インターンする
- プロトタイプを海外で試してみる
- などなど



【疑】 日常にあるモノゴト・あたりまえを疑ってみること

(例えば)

- ・ 台風を、災害という視点以外で見たことはありますか？
- ・ いつも歩いている通学路を、通学路以外の視点で見たことはありますか？

【技】 つくりたいものをつくるための技術や知恵を高めたり、選べるようになること

- ・ 普段学んでいる技術、自分が関心のある技術やテクノロジーを使ってみる。
- ・ 気になっている素材や材料を取り扱ってみる。

【戯】 アイデアを他者が体験できるモノゴトへと落とし込み、実験しながらヒントを見つけること

- ・ プロトタイプを作り、体験してもらって初めてわかることがたくさんある。自分が情熱を注ぎたいことは、こういった遊びの中で見つかっていく。

移動って、もっと
楽にならないかなあ。

忘れ物って、
どうしたら
なくなるんだらう。

もっと手軽に
工作できないかなあ。

世の中暗くない？

本棚って、
本が増えると
使いつづらいいよね。

どこでもピアノが
弾けるといいのになあ。

少しの知識で、
世界はもっと面白く
見えるはず。

このさき続いていく人生の中で、

ふと何か疑問を感じた時、
何かやってみたいという想いが湧いてきた時、

その感情をクリエイティブに、自由にカタチにでき、
世の中に発信していくことができるようになる。

それができる、という肌感覚・実践力を
ひとりひとりが育み、獲得できている状態へ。



考えるだけでなく、体感を伴う形で
一度やってみたかどうかの差は大きい。
イメトレだけでは自転車に乗れない。

地動計画の紹介動画は、以下のURLからご覧いただくことができます。

https://www.youtube.com/watch?v=HpwnA8uKg_0

地動計画
Discovery Create Proof

「地動計画」概要

(1) 実施場所	東京都立産業技術高等専門学校 品川キャンパス・荒川キャンパスと周辺エリア、 宿泊施設(23区内予定)
(2) 実施期間	2024年7月13日(土)～2024年10月27日(日)
(3) 募集人員	20名(両キャンパス合計)
(4) 応募資格	本校ものづくり工学科1～5年次の学生で、将来、自らの専門性をもって社会課題の解決にチャレンジするエンジニアを目指し、本プログラムに積極的に取り組める学生
(5) 実施内容	①スタートアップに関する基礎講座 ②学生毎に設定するプロジェクトに対する先輩起業家のフォローアップと特別講座 ③仮説検証スキル向上のためのフィールドワーク合宿 ④プロジェクトの成果を報告会
(6) 担当教員	[A]吉村学生主事、古屋准教授 [S]澤田学生主事、大野准教授
(7) 宿泊	あり(2泊3日のフィールドワーク合宿では23区内の宿泊施設を利用予定)

今後の主なスケジュール ①

●プログラム開始まで

学生向けプログラム説明会	[S] 4月24日(水)15:30 [A]4月25日(木)15:00/16:30 【説明会后、参加申込の受付を開始】
参加申込締切(第1次)	5月15日(水) → 5月17日(金)までに本人宛に通知
保護者・学生向け説明会	[S] 5月22日(水)15:30 [A] 5月23日(木)15:30
起業ワークショップ	[S] 5月22日(水)16:30 [A] 5月23日(木)16:30 【起業ワークショップは説明会後に開催。一方のみの参加も可】
参加申込締切(第2次)	6月19日(水) → 6月21日(金)までに本人宛に通知
参加者個別面談	5月下旬～7月上旬 (参加が決まった学生から順次実施) 15:00～19:00 の時間帯にオンラインで実施 【日程は個別調整】

今後の主なスケジュール ②

●プログラム開始～

7月13日(土)	10:30～11:30 参加者向けオリエンテーション 12:30～17:30 全体向けプログラム	〈集合〉
8月10日(土)	13:00～15:00 フォローアップ会	〈集合〉
8月12日(月)～ 16日(金)	フォローアップ面談① 9:00～19:00の時間帯に実施(個別調整)	〈オンライン〉
8月22日(木)～ 24日(土)	フィールドワーク合宿 (外部宿泊施設を利用)	
8月26日(月)～9月3日(火)	フォローアップ面談② 9:00～19:00の時間帯に実施(個別調整)	〈オンライン〉

今後の主なスケジュール ③

●プログラム実施中

9月6日(金)	10:00～13:00 全体進捗共有会①	〈集合〉
9月19日(水)	13:00～16:00 中間報告会	〈集合〉
9月28日(土)	10:00～13:00 全体進捗共有会②	〈集合〉
10月2日(水)～22日(月)	フォローアップ面談③ 15:00～19:00の時間帯に実施(個別調整)	〈オンライン〉
10月9日(水)または10日(木)	成果報告会準備会①	〈オンライン〉
10月16日(水)または17日(木)	成果報告会準備会②	〈オンライン〉
10月26日(土)・27日(日)	成果報告会@文化祭	

本プログラムに係る費用は、以下の通り学校と参加者のそれぞれで負担します。

【学校が負担する費用内訳】

1. プロトタイプ制作費用(1人あたり10万円 ※下記の通り、例外あり)
2. スタートアップに関する講座参加費用
3. 外部講師(先輩起業家など)講演費用
4. フィールドワーク合宿の宿泊料、交通費

【参加者が自己負担する費用】

1. 活動を行う両キャンパスへの交通費
2. 学校の契約手続きによる購入が困難な物品等の購入費用
(例：先払が必要なもの、海外販売サイトでのみ購入可能なもの、実施期間内での納品が困難なもの 等)
3. 学生が個人的に利用する外部施設の利用料や交通費



Entrepreneurial **T**rainings for **I**nnovative **C**ommunities.

創業から30年、若い世代の「起業家的挑戦」をキーワードに、
未来をつくる人を応援し、共に仕掛ける伴走者として活動。

【累計】

輩出起業家数

1,915 名

【累計】

実践的なプログラムへの参加者数合計

約 12,500 名

Move Forward. ETIC.

行動を起こす人に伴走し、つなぎ、
ともに「あたらしい社会」をつくる。

ETIC.という名前は、Entrepreneurial Training for Innovative Communities. の頭文字をとったもの。
私たちは、「アントレプレナー」を増やすために約30年活動してきました。

NPOと言えば「社会のために活動している団体」と見られがちですが、どちらかと言うと私たちは
「こんなことをやってみたい」という個人の挑戦を、応援・支援してきた団体です。

想いのある人に必要なサポートをする。志を同じくする人とつなぐ。

さまざまな人や組織と一緒に、みずからプロジェクトを立ち上げる。

時代のフロンティアで積み重ねてきた活動は、少しずつ、でも確実に社会の変化を生み出してきました。

企業人であれ、学生であれ、地域や社会の課題に取り組む人であれ、想いを持った個人とともに

私たちはこれからも「あたらしい社会」をつくる活動を続けてゆきます。

プログラム(例)

起業前の段階の人たちを支援するものを含め、年間20~30くらいの支援プログラムを実施しています。

400字から世界を変えるスタートアップコンテスト
TOKYO STARTUP GATEWAY



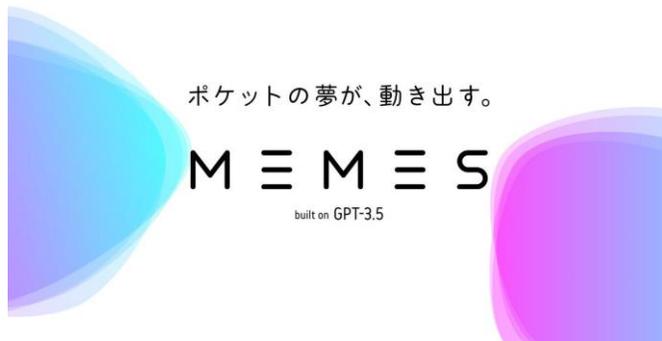
次世代イノベーターのための私塾
MAKERS UNIVERSITY



起業家やリーダーと共に挑む、
実践型インターンシップ・複業プログラム



自分らしいアイデアや夢を描く手がかりに
MEMES - Clue Generation Service -



全国の先進自治体とつくる
ローカルベンチャーラボ



社会起業家特化の伴走支援プログラム
社会起業塾イニシアティブ



地動計画
Discovery Create Proof